

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練(通報・避難・消火)を年に2回(日中1回、夜間1回)消防署、消防団、地域の方、職員全員で実施している。夜間の災害は夜勤1名での対応となっているが、実際の対応行動がなかなか身につくことができない。	夜間の災害は夜勤1名での対応となるので、実際の対応行動が身につくよう普段からシュミレーション、イメージトレーニングを行い非常時に備える。	日勤から夜勤者への申し送り時、緊急時のマニュアル、フローチャートを読み合わせ確認する。 夜間想定訓練時に、実際夜勤1名の通報訓練、緊急連絡網を行い、状況や行動を把握する。 入居者の状態を考えた、誘導方法を毎月一度の事業所内会議で、申し合わせや想定訓練を行なう。それ以外でも学習会等を計画的に開催し、非常時に備える。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期の本人、ご家族の、希望を「看取りに関する意思確認書」や、日頃の関係で意思確認はできているものの、医師との方針を共有していくことが今後の課題である。	医師、本人、ご家族、グループホームとの終末期についての想いや連携を大切に、安心して生活できるよう支援していく。	医師、本人、ご家族、グループホームとで「意思確認書」を作成し、終末期の向けての方針や、今後状態変化の予測、のグループホームの生活についての方向性を共有していく。	12ヶ月
3	15	新規入居者の契約について、入居者さんがグループホームへ訪問して生活を体験されたケースがない。	新規入居者さんの状況に応じて、グループホームでの生活を実際に体験されることで、安心した生活に繋がられる支援を行っていく。	新規入居者契約時、管理者より本人、ご家族へ相談し、可能なら訪問して頂く。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。